

計測制御分野で最新のシステムを提供する

ハビリス納入事例紹介

高炉温度・ガスデータ分析システム

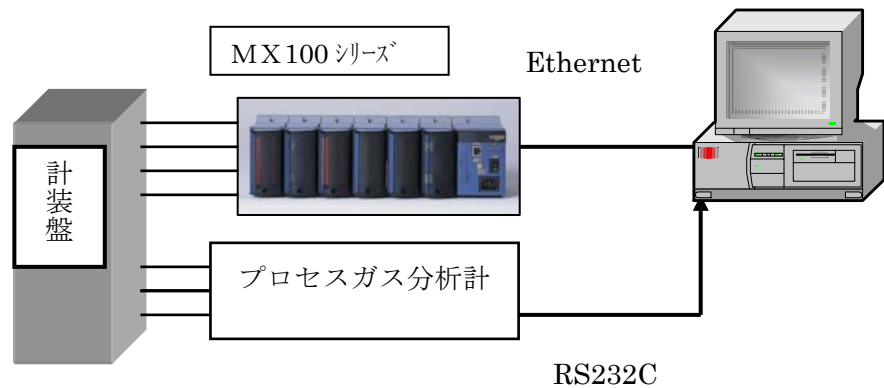
省エネルギーの強化と地球温暖化対策として高炉をはじめとする製鉄プロセスで発生する副生ガスが大量に発生しております。これらのガスは個々に異なった特性を持っているため、各設備が排出するガスを分析して、最適な利用方法を追求されております。

当事例では、横河電機株式のデータアキュイジションシステム「MX100」で高炉の温度関連データを計測すると共に、プロセスガス分析計で高炉排出ガス成分の収集を行い、「ウエーブリサーチャー」をベースに作成した計測システムにより、副生ガスの有効利用方法の開発に利用いただいているものです。

(1)機器概要



高炉



- ①測定機器 横河電機株： データアキュイジションユニット MX100シリーズ
プロセスガス分析計

「システムの概要」

(1)当システムは、高炉の副生ガスの有効利用を促進するために、高炉内の温度分布とガス分布を連続的に計測するものです。

高炉内の各場所に設置している温度センサ40点以上のデータを横河電機(株)製：MX100から1秒間隔でデータ収集を行うとともに、プロセスガス分析計からの各種ガス濃度を連続的に収集します。

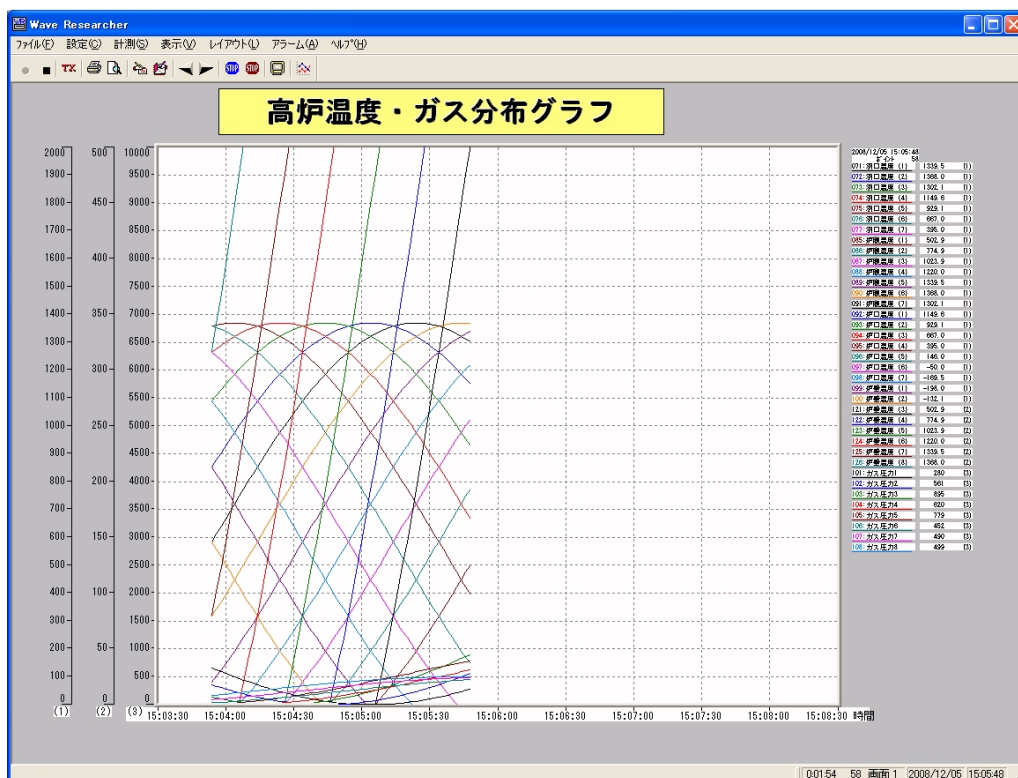
「ウェーブリサーチャー」にはプロセスガス分析計とRS232Cで通信し、各種ガス濃度を収集してリアルタイムにトレンドグラフ、装置系統図を表示します。

- ①測定データ 高炉内温度、炉内温度、炉口温度、炉壁温度、炉腹温度、羽口温度、圧力、ガス流量、ガス濃度、等
- ②測定周期 最短1秒間隔データ収集
- ③ガス種類 CO、CO₂、H₂、CH₄、N₂
- ④表示グラフ トレンドグラフ、XYグラフ、系統図グラフィック等

(2)主な改造内容について

- ・プロセスガス分析計とRS232Cで通信し、リアルタイムにガス関連データ収集を行なう機能を追加した。

○トレンドグラフ表示例



お問い合わせ先

株式会社ハビリス システム営業部

URL: <http://www.habilis.co.jp>

〒108-0014 東京都港区芝4-7-1 西山ビル

Tel : 03-3769-6291 Fax : 03-3769-6285